



## 台湾のノートパソコン産業(その3)

台湾はコンピューター王国と呼ばれ、過去10年以來、PC関連産業において驚異的な発展を見せている。しかし、PC産業もボトルネックにぶつかり、台湾では人件費コストが高いことから、過去の強い競争力を失っている。このため、従来有していた技術と経験を活かして構造転換を図り、過去の産業モデルから抜け出さねばならない。自社ブランドを作り出すだけでなく、技術主導の産業に向けて歩いていくことで、初めてグローバルなIT産業の日進月歩の進歩と競争に対応することが出来る。このような中、台湾においてノートブックPC産業が新興したことは、近年、台湾のPC産業に新しいピークをもたらした。そして、中華系コンピューター企業のリーダー的地位にある宏碁Acerは、先駆けて欧米市場に攻め込んでいき、世界10大PCメーカーにランクインしたのみならず、ノートブックについては、更に2004年の第2四半期より、西ヨーロッパ市場で、業界トップの新生ヒューレットパッカードを打ち負けし、販売量でトップの座を勝ち取った。

### 歴史的背景

宏碁 Acer グループの成立は1976年で、当初は事業情報サービスを行っていたが、後にPCメーカーに転換した。PC、マザーボード、マルチメディア製品、周辺機器、半導体を主としたR&D、製造及びマーケティングを行っている。また、積極的に消費者向け電子、通信製品及びインターネットサービスとアプリケーションソフトの領域にも進出し、中華系最大のPCの自社ブランドを持つメーカーである。

### サービス概要

現在、Acer 電脳が提供するサービスは非常に幅広く、一般ビジネス及び個人IT関連製品の製造販売を行うのみならず、企業のネットワークソリューション、個人ネットワークサービス及びネットワーク・データストレージ、企業のウェブサービスなどの情報システムのトータルソリューションサービスも行っている。更に、UNIX オペレーションシステム(HP)、企業のITサービス管理(OpenView)等の製品の代理も行っている。相当積極的にAcer

ブランドにより、IT製品のセールスを行っており、世界レベルの情報サービス会社を目指している。

### Acerブランドの大きな成長

Acerの9月度の連結ベース売上高は単月での最高額を記録し、自社ブランド企業の強い成長力を見せつけた。Acerは、9月単月の連結ベース売上高216.62億元と、昨年同期の153.13億元より41.5%の大幅な増加となり、今年8月単月比でも190.73%からも13.6%の伸びとなり、宏碁の単月連結ベース売上高の最高額を記録した。累計ベースでは第3四半期までの連結売上高が1541.18億元と、昨年同期の1037.63億元から48.5%の大幅増加となった。Acerは今年の連結売上高目標は2020.86億元であり、第3四半期までの達成率は76.3%である。

Acerは、9月の連結売上高が単月での新記録を更新した主な要因は、自社ブランドIT製品の売上高が176億元に達し、去年同期比66%の成長となったことその他、ヨーロッパ全域と大中華圏での売上高の貢献もある。第4四半期では更なる成長が期待できる。



### 台湾のノートパソコン産業(その3)

#### ノートブック PCの素晴らしい業績

ノートブック PC はデスクトップ PC のように自ら DIY で組み立てることは出来ず、機体は一体で成型されており、ばらすことが出来ない。このため、アフターサポートが相対的に非常に重要である。Acer は、このデスクトップ PC での豊富な経験を臨機応変に活かすと共に、更に大量の技術者を擁し「2時間スピード修理」を打ち出し、消費者へのサービスを提供している。成熟技術と、強力なサポートにより、宏碁の製造したノートブック PC は、世界のノートブック PC 市場への進出していった。

宏碁 Acer のノートブック PC の販売業績は安定しており、近年は素晴らしい成績を示している。IDC 社の資料によると、Acer のノートブック PC は 2004 年の第 2 四半期に西ヨーロッパ地区での出荷量が、初めて新生 HP を超えて、トップとなった。マーケットシェアは 16.7% になり、販売量も去年同期比 67.2% の成長となった。また、ランキング第二位の新生 HP はシェアは 15.3% であり、販売量はマイナスの 9.7% の成長であった。

Acer は第 2 四半期に西ヨーロッパ市場で、ノートブック PC の出荷量がはじめて第一位となったのみならず世界のトップメーカーを打ち負かした。特に、欧州のドイツ、イギリス、フランス及びイタリアなどの 4 つ国では、非常に傑出した成績であった。Acer の第 2 四半期のノートブック PC 販売量はドイツとイタリアでは第一位であり、フランスでも第 3 位、イギリスでもトップ 4 に躍り出ている。IDC 社の最新資料によれば、2004 年第 3 四半期には、Acer はヨーロッパ地区での第 3 四半期単期での PC 出荷量は初めてトップ 3 に入り、成長率も 57.5% に達し、5 大ブランドのトップとなる。西ヨーロッパ地区での、ノートブック PC の販売量は引き続き 1 位となり、デスクトップ PC でも大幅な成長を示

し、業界トップを占める。

IDC の数値が示すところによれば、Acer のノートブック PC は宏碁 Acer ブランドは西ヨーロッパ市場でのシェアは、連続で第一位になっただけではなく、成長率でも、10 大トップメーカーの内、第一位となっている。単一の国別では、Acer のノートブック PC は欧州最大の PC 市場のドイツでトップを奪取したのみならず、イタリア、オランダでもトップになり、成長率も全てトップレベルである。

この他、宏碁 Acer ブランド PC 全体の第 3 四半期での成績は、イタリアで引き続き第一位であるだけではなく、西ヨーロッパのその他の国でも成長率は押し並べてトップレベルである。特にフランスの成長率は 143.4%、オランダの成長率は 65.1%、ドイツは 30.4%、Acer は三つ以上の西ヨーロッパの国での成長率は第一位に名を連ねている。

#### 将来のビジョン

将来に目を向けると、Acer の董事長施振榮が 2004 年年末に引退するに伴い、Acer ははっきりとした新戦略を策定している。すなわち、まず、大量の IT サービス及び財務管理人材を迎え入れ、次に、体質改善、グループ内の E- ビジネスの部署を統合、整理し、M & A の方式により転換を加速化する。この他、非中核の事業への投資を処分し、積極的に新たな中核事業への投資に資金を配分しなおす。また、ブランド知名度を積極的に利用し、成熟した技術と国際化された優位性を利用して、中国大陸の市場を開拓する。ハードウェア、例えばノートブックとデスクトップ PC でのブランドの優位性、にソフトウェアサービスなどの優遇条件により、長期的なシステム及びサービス業務を勝ち取り、IT マーケティングサービスへの方向に向けて進んでいく。